

公開講演会
富山の外来生物

講演要旨集

(HP 公開用訂正版)



平成 30 年 5 月 12 日 (土) 13:00~15:30

主催：富山県生物学会
富山県中央植物園 / 指定管理者：(公財)花と緑の銀行
後援：(公社)日本植物園協会

はじめに

富山県生物学会会長 南部久男

私たちの身の回りでは、道端にセイヨウタンポポが黄色い花をつけ、秋の草むらにはアオマツムシが鳴き、庭ではオカダンゴムシが子供たちの遊び相手になっている。これらの外来生物はすでに富山の自然の風景に溶け込んでいるようにみえる。ヒアリやアライグマのようなネットや新聞を賑わすような外来生物以外にも、一般には知られていない様々な外来生物がいつの間にか陸上・水中と、あちこちに入り込んでいる。外来生物は、生態系に影響を及ぼし、私たちの生活にも直接、間接的な被害を及ぼすことがある。いずれにしても、外来生物の出現の多くは人間活動の結果である。

全国的に問題となっている外来生物だが、富山県の実態はいったいどうなっているのだろうか？「立山の外来植物除去」のように毎年新聞などで取り上げられるような事柄はあっても、全体像はよく分かっていないのが実情であろう。今回、演者らに主な外来生物（動物）をリストアップしてもらった結果（資料参照）、過去に発見されたものも含め、多くの分類群で国外由来の外来生物が66種、国内由来の外来生物で21種が確認でき、また、遺伝子から分かったものもあった。外来植物は動物よりはるかに多く、枚挙にいとまがないであろう。多くの外来生物自体のことが知られておらず、その生息状況もよく分かっていないと思われ、今後分布が拡大し、新たな外来生物の侵入もあるかもしれない。

今回の講演会がこれからもなくなることはない外来種問題を市民の皆様と一緒に考える第一歩になれば幸いである。

開会のご挨拶 講演

南部久男

1) 富山県における特定外来生物への
対応等について

平野雅治 13:00-13:15

2) 植えてはいけない花—特定外来種—

中田政司 13:15-13:35

3) 遺伝子からみた外来種問題

山崎裕治 13:35-13:50

4) 富山県の外来昆虫と蜘蛛

根来 尚 13:50-14:05

休憩 10分

5) 富山県の外来貝と甲殻類

布村 昇 14:15-14:30

6) 富山県の外来魚

—国内外来魚を知っていますか—

不破光大 14:30-14:45

7) 富山県の外来生物—両生類・は虫類—

福田 保 14:45-15:00

8) 富山県の外来哺乳類

—ハクビシン・アライグマ—

白石俊明 15:00-15:15

総合討論

佐藤 卓 15:15-15:30